



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月15日

上場取引所 東大

上場会社名 日本基礎技術株式会社

コード番号 1914 URL <http://www.jafec.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中原 巖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 松本 文雄

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

TEL 06-6351-5621

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	7,632	—	△81	—	43	—	△278	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△9.74	—
22年3月期第2四半期	—	—

(注)平成23年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年四半期の数値及び前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	29,956	22,287	74.4	780.06
22年3月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 23年3月期第2四半期 22,287百万円 22年3月期 一百万円

(注)平成23年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	—	50	—	200	—	100	—	3.50

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

(注2)平成23年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期増減率は記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】2～3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ー）、除外 ー社（社名 ー）

（注1）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（注2）当社は、平成23年3月期第1四半期より、株式会社オーケーソイル及び株式会社サンボックスの全株式を取得したため連結子会社とし、JAF EC USA, Inc. は連結上の重要性が高まることとなったため、それぞれ連結の範囲に含めております。

なお、株式会社オーケーソイルは、当第2四半期連結会計期間において、株式会社サンボックスを吸収合併いたしました。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 30,846,400株 22年3月期 30,846,400株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 2,275,030株 22年3月期 2,273,471株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 28,571,852株 22年3月期2Q 28,574,566株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 前事業年度末要約貸借対照表（個別）	10
(3) 前第2四半期損益計算書（個別）	12
(4) 前第2四半期キャッシュ・フロー計算書（個別）	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高・株安の影響、世界経済の減速および国内政策効果の終息により、民間設備投資や個人消費の悪化懸念による企業業績への不透明感が広がり、景気の回復維持が難しい状況で推移しております。

この間、建設業界におきましては、公共工事は引続き減少し民間設備投資も回復が遅れ、依然として厳しい受注環境が続いております。

かかる中、当社グループにおきましては、当期が最終年度に当たる中期経営計画（3ヵ年計画）の達成に向けて全社を挙げて取り組んでおります。具体的には、（1）民間工事の受注拡大および原子力発電所・港湾等の耐震補強工事への積極的参入、（2）不採算工事の排除、利益性・労働生産性の高い工種・工法への転換、（3）海外工事への参入準備等に努め、技術社員の確保・育成を推進しております。その一環として当社では、都市部の地盤改良工事に実績があり、その技術力に高い評価を受けている株式会社オーケーソイルを、平成22年4月30日に全株式を取得し子会社といたしました。既に米国に現地法人を設立し海外工事の実績がある同社の子会社化は、平成22年1月より営業を開始した当社の米国現地法人（JAFEC USA, Inc.）とともに、今後当社グループが海外展開を進める上においても様々な面でノウハウを活用できるメリットがあると考えております。JAFEC USA, Inc.については、当第2四半期連結累計期間に現地人材を採用し陣容強化に努め、海外での受注活動に積極的に取り組んでおります。

なお、当社グループは売上高に占める公共工事の割合が高いため、売上高は通常の営業形態として、上半期に比べ下半期に完成が集中する傾向があり、連結会計年度の上半期と下半期に季節的変動があります。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高76億32百万円、営業損失81百万円、経常利益43百万円、四半期純損失2億78百万円となっております。

なお、当期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期比については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は、299億56百万円となりました。その主な内容といたしましては、現金及び預金36億46百万円、受取手形・完成工事未収入金等51億68百万円、有価証券56億86百万円、有形固定資産49億2百万円、投資有価証券48億4百万円であります。

(負債)

負債の残高は、76億69百万円となりました。その主な内容といたしましては、支払手形・工事未払金等30億94百万円、未成工事受入金19億12百万円であります。

(純資産)

純資産の残高は、222億87百万円となりました。その主な内訳といたしましては、利益剰余金144億17百万円であります。当第2四半期末の自己資本比率は、74.4%であります。

なお、当期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前事業年度末比については記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成22年5月14日に公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、重要な子会社には該当いたしません。第1四半期連結会計期間より、株式会社オーケーソイル及び株式会社サンボックスの全株式を取得したため連結子会社となり、JAFEC USA, Inc. は連結上の重要性が高まることとなったため、それぞれ連結の範囲に含めております。

また、株式会社オーケーソイルは、当第2四半期連結会計期間において、株式会社サンボックスを吸収合併いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①貸倒見積額を算定する方法

当第2四半期連結会計期間末の一般債権に係る貸倒引当金は、前事業年度末に算定した貸倒実績率等から著しい変化がないため、前事業年度末の貸倒実績率等を用いて算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第2四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、会計基準等の改正に伴う変更はありません。

(注1) 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、営業損失は431千円増加し、経常利益は431千円減少し、税金等調整前四半期純損失は、27,878千円増加しています。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は29,259千円であります。

(注2) 企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成22年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,646,860
受取手形・完成工事未収入金等	5,168,659
有価証券	5,686,982
未成工事支出金	3,129,512
材料貯蔵品	96,935
その他	705,200
貸倒引当金	△47,000
流動資産合計	18,387,150
固定資産	
有形固定資産	
建物・構築物（純額）	1,255,205
土地	2,637,909
その他（純額）	1,009,259
有形固定資産計	4,902,374
無形固定資産	
のれん	281,793
その他	116,340
無形固定資産計	398,134
投資その他の資産	
投資有価証券	4,804,004
その他	1,481,395
貸倒引当金	△16,642
投資その他の資産計	6,268,756
固定資産合計	11,569,266
資産合計	29,956,416
負債の部	
流動負債	
支払手形・工事未払金等	3,094,491
未払法人税等	56,310
未成工事受入金	1,912,197
完成工事補償引当金	1,000
賞与引当金	105,217
工事損失引当金	75,096
その他	1,017,186
流動負債合計	6,261,499
固定負債	
退職給付引当金	704,573
その他	703,049
固定負債合計	1,407,623
負債合計	7,669,123

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	5,907,978
資本剰余金	5,512,143
利益剰余金	14,417,792
自己株式	△885,118
株主資本合計	24,952,795
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△282,968
土地再評価差額金	△2,383,962
為替換算調整勘定	1,428
評価・換算差額等合計	△2,665,502
純資産合計	22,287,293
負債純資産合計	29,956,416

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成22年4月1日
至平成22年9月30日)

売上高	
完成工事高	7,632,055
売上原価	
完成工事原価	6,703,383
売上総利益	
完成工事総利益	928,671
販売費及び一般管理費	1,010,426
営業損失(△)	△81,755
営業外収益	
受取利息	49,863
複合金融商品評価益	50,645
その他	50,358
営業外収益合計	150,867
営業外費用	
支払利息	6,017
固定資産売却損	6,855
為替差損	9,606
その他	2,849
営業外費用合計	25,328
経常利益	43,783
特別利益	
貸倒引当金戻入額	8,031
その他	487
特別利益合計	8,519
特別損失	
投資有価証券評価損	214,905
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,446
その他	630
特別損失合計	242,982
税金等調整前四半期純損失(△)	△190,678
法人税、住民税及び事業税	51,281
法人税等調整額	36,371
法人税等合計	87,652
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△278,331
少数株主利益	—
四半期純損失(△)	△278,331

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年4月1日
至 平成22年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△190,678
減価償却費	180,953
のれん償却額	21,676
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26,760
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△34,161
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,782
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	17,181
受取利息及び受取配当金	△72,489
支払利息	6,017
有価証券売却損益 (△は益)	△2,988
投資有価証券売却損益 (△は益)	298
投資有価証券評価損益 (△は益)	214,905
複合金融商品評価損益 (△は益)	△50,645
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,446
為替差損益 (△は益)	2,800
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,800
売上債権の増減額 (△は増加)	1,366,185
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△168,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15
仕入債務の増減額 (△は減少)	△470,115
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△168,232
その他	△121,727
小計	490,194
法人税等の支払額	△40,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△229,772
定期預金の払戻による収入	40,015
有価証券の取得による支出	△4,899,142
有価証券の売却による収入	5,486,079
有形固定資産の取得による支出	△129,409
有形固定資産の売却による収入	121,831
敷金の回収による収入	1,000
保険積立金の解約による収入	6,381
投資有価証券の取得による支出	△720,822
投資有価証券の売却による収入	190,416
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△589,182
貸付けによる支出	△9,505
貸付金の回収による収入	15,351
利息及び配当金の受取額	73,406
その他	△12,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△656,121

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年4月1日
至 平成22年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△56,366
リース債務の返済による支出	△11,464
社債の償還による支出	△10,000
自己株式の取得による支出	△318
配当金の支払額	△85,718
利息の支払額	△6,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,373
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△377,887
現金及び現金同等物の期首残高	4,427,251
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	74,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,123,444

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

工種別受注高

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)		当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)		比較増減	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)
法 面 保 護 工 事	1,719	20.5	1,156	12.2	△562	△32.7
ダ ム 基 礎 工 事	393	4.7	543	5.7	149	38.1
ア ン カ ー 工 事	1,354	16.2	1,390	14.6	35	2.6
重 機 工 事	988	11.8	1,355	14.3	367	37.1
注 入 工 事	1,536	18.3	3,425	36.0	1,889	122.9
維 持 修 繕 工 事	594	7.1	303	3.2	△290	△48.8
環 境 保 全 工 事	386	4.6	380	4.0	△5	△1.5
そ の 他 土 木 工 事	1,017	12.2	545	5.7	△472	△46.4
建設コンサル・地質調査	387	4.6	403	4.3	15	3.9
合 計	8,377	100.0	9,504	100.0	1,126	13.4

(注) 1. 当期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成していますので、前第2四半期累計期間は提出会社単体の受注高を記載しております。

2. 当第2四半期連結累計期間の重機工事には、連結子会社である(株)オーケーソイルの受注高373百万円を含んでいます。

(2) 前事業年度末要約貸借対照表 (個別)

(単位：千円)

		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		2,367,251
受取手形・完成工事未収入金等		6,224,436
有価証券		6,409,780
未成工事支出金		2,960,638
材料貯蔵品		96,920
その他		598,753
貸倒引当金		△43,000
流動資産合計		18,614,780
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物 (純額)		1,208,971
土地		2,327,909
その他 (純額)		711,660
有形固定資産計		4,248,540
無形固定資産		115,939
投資その他の資産		
投資有価証券		5,361,399
その他		1,557,773
貸倒引当金		△35,402
投資その他の資産計		6,883,770
固定資産合計		11,248,250
資産合計		29,863,030
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等		3,475,900
未払法人税等		26,027
未成工事受入金		2,080,429
完成工事補償引当金		1,000
賞与引当金		144,000
工事損失引当金		57,915
その他		375,885
流動負債合計		6,161,157
固定負債		
退職給付引当金		738,735
その他		332,913
固定負債合計		1,071,648
負債合計		7,232,806

(単位：千円)

前事業年度末に係る
要約貸借対照表
(平成22年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	5,907,978
資本剰余金	5,512,143
利益剰余金	14,782,773
自己株式	△884,800
株主資本合計	25,318,095
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△303,909
土地再評価差額金	△2,383,962
評価・換算差額等合計	△2,687,871
純資産合計	22,630,223
負債純資産合計	29,863,030

(3) 前第2四半期損益計算書(個別)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	
完成工事高	5,170,683
売上原価	
完成工事原価	4,679,667
売上総利益	
完成工事総利益	491,015
販売費及び一般管理費	827,480
営業損失(△)	△336,464
営業外収益	
受取利息	71,453
受取配当金	25,912
その他	30,619
営業外収益合計	127,985
営業外費用	
複合金融商品評価損	29,584
その他	2,827
営業外費用合計	32,412
経常損失(△)	△240,890
特別利益	
貸倒引当金戻入額	15,058
その他	813
特別利益合計	15,872
特別損失	
減損損失	10,449
その他	5,001
特別損失合計	15,451
税引前四半期純損失(△)	△240,470
法人税、住民税及び事業税	20,000
法人税等調整額	69,531
法人税等合計	89,531
四半期純損失(△)	△330,001

(4) 前第2四半期キャッシュ・フロー計算書(個別)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△240,470
減価償却費	198,106
減損損失	10,449
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△102,742
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,396
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△19,545
訴訟損失引当金の増加・減少(△)額	△37,925
受取利息及び受取配当金	△97,366
有価証券売却損益(△は益)	△16,196
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,657
投資有価証券評価損益(△は益)	2,099
複合金融商品評価損益(△は益)	29,584
有形固定資産売却損益(△は益)	132
売上債権の増減額(△は増加)	2,455,989
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,526,650
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,688
仕入債務の増減額(△は減少)	△511,635
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,098,965
その他	△251,373
小計	897,058
法人税等の支払額	△86,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	810,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20,000
定期預金の払戻による収入	220,000
有形固定資産の取得による支出	△68,711
有形固定資産の売却による収入	28,076
会員権の償還による収入	7
有価証券の取得による支出	△7,384,620
有価証券の売却による収入	6,594,434
投資有価証券の取得による支出	△871,095
投資有価証券の売却による収入	312,907
貸付けによる支出	△19,700
貸付金の回収による収入	18,135
利息及び配当金の受取額	90,481
その他	△28,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,128,255

(単位：千円)

前第2四半期累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△5,367
自己株式の取得による支出	△410
配当金の支払額	△85,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,505
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△409,553
現金及び現金同等物の期首残高	4,290,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,880,481